

はじめに

技術研究所 所長 西原 寛

本年度は、当社にとって中期経営計画 ADV（アドバリュー）2011の2年目、中核年度に当たりますが、日本経済の景気回復の足取りは重く、建設業界を取り巻く環境は一層厳しくなっています。

当社では、中期企業イメージである「高い総合力を誇る（VALUE創造）専門家集団として、お客様満足度を高め続ける企業。高い品質と健全性で社会からの信頼を高め続ける企業」の真価を今こそ発揮し、「時代の変化に対応し、新たな価値を創造し続ける企業」を目指し総力を結集するべく活動を進めています。

また、社会から信頼される企業であり続けるために、全社を挙げてCSRへの取り組みを進めています。

技術研究所では、当社の注力3分野である技術提案対応関連分野（CR、構工法、環境対応関連技術）、医療・シルバー関連分野、ストック市場関連分野での優位性確保に向けた取り組み展開の強化を図っています。

また、最も基本となるお客様の要求する品質を的確に把握し、真にお客様が必要とする技術を有し、有効に活用して頂くため社内外の多くの皆様と協同し、ご支援ご理解を頂くと共にその負託に応えるべく業務展開を図っています。

技術研究所報では、これら活動成果の一部を皆様から頂いたご支援ご指導へのお礼として情報発信致します。

本報では、制震補強を含めた構工法の開発を中心に各研究グループから8テーマについて報告しています。関係各位のご高覧を頂ければ幸甚に存じます。

今後とも皆様方のご指導とご協力をお願い致します。

2010年11月